

次年度に生きる学校評価を

1月22日(火)に、第3回の「和寒町学校運営協議会」が開催されました。協議内容は、小中学校における“学校評価”に係わる検討です。前回の会議で示された④③②①になぞらえた評価項目に基づく学校評価(教職員評価、保護者評価、児童・生徒評価)を点数化し、「A」「B」「C」に評定に基づくその妥当性を協議しました。評価の殆どが「A」評価でしたが、中には「B」「C」の評価もありました。詳しくは、和寒町のHPに掲載されていますのでご覧ください。



全体会では委員より「和寒においていじめがあるのか。」という質問がありました。それに対して「いじめはないが、いつでも起こり得る、“ある”というスタンスで取り組んでいる。」という返答がありました。



そして、いじめが原因で母娘が無理心中を喫するという痛ましい事件が新聞等で報道された折り、保護者としての胸の裂ける思いが交わされ、「そのような場合、和寒ではどのように対応するのか。」の質問に対し「学校での窓口は担任になるが、担任一人で抱え込まずチームで解決していく。ただ、問題は複雑化しているので学校単独での解決は難しくなっている。家庭や地域との連携した解決が求められる。」ということで、協議会としても一枚岩となって取り組むことを確認しました。

さらに、「ボランティア、ステッカー等の進捗状況について」質問があり、コーディネーターより「図書館整備のボランティアは2名登録いただいた。その他のボランティアについては、現在登録しなおしている状態。4月から活動ができるようにしていきたい。」

子ども110番のステッカーは、予算と照らし合わせながら作成していく。」という返答があり、早急に体制整備と活動の開始を望む声が上がっていました。



★協議会における「熟議」は協議会の生命線★

学校教育を少しでも実りのある内容にしたい、そんな思いで委員の皆さんは協議を進めています。学校への願いや思い、あるいは意見が届けられたら学校を支える裾野が広がります。これこそ、“地域とともにある学校”づくりです。

〈訂正のお詫び〉

前号の広報紙、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果で、誤りがありましたので訂正し、お詫びいたします。

和小男子ソフトボール投げ (誤)40.38m⇒(正)25.38m